

# 東北北部エリアにおける 電源接続案件募集プロセスについて

平成29年1月25日  
電力広域的運営推進機関

○東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセス（以下、「本プロセス」といいます。）においては、平成28年10月13日に開始を公表しております。

【広域機関HP】 東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセスの開始について  
[https://www.occto.or.jp/keito/akusesu/files/161013\\_ntohoku.pdf](https://www.occto.or.jp/keito/akusesu/files/161013_ntohoku.pdf)

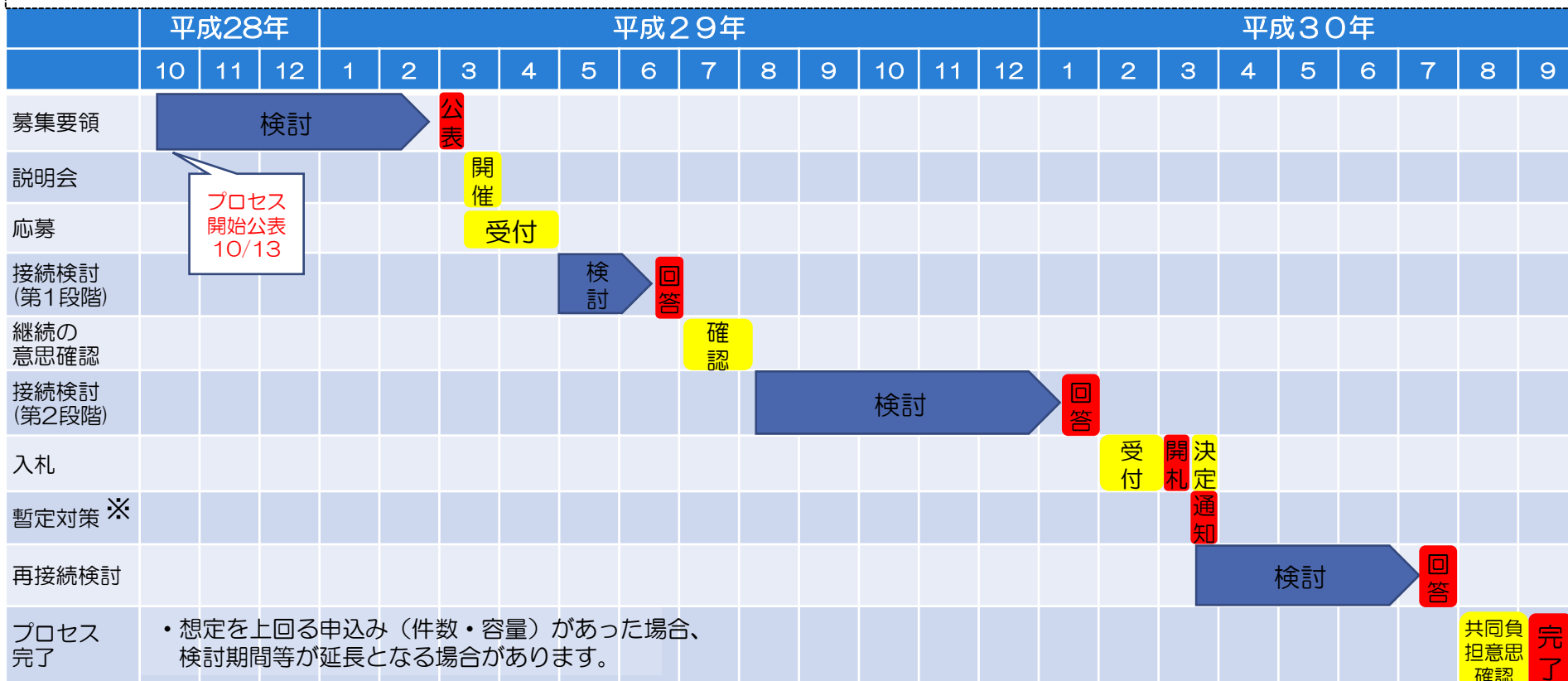
○そのスケジュールについては、対象エリアが広範囲となり検討に時間を要することから後日公表としていました。

○スケジュールの見通しが立ちましたので、平成29年1月24日に、当機関HPにて公表致しました。今回その概要をご報告させていただきます。

【広域機関HP】 東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセスのスケジュールについて  
[https://www.occto.or.jp/keito/akusesu/2016\\_0617\\_koikikikan\\_shusai.html](https://www.occto.or.jp/keito/akusesu/2016_0617_koikikikan_shusai.html)  
(別添資料参照)

# スケジュール概要（予定）

- 本プロセスの対象エリアが広範囲であり多数の連系希望量が想定されること等から、標準的な電源接続案件募集プロセスのスケジュール（開始から1年程度）と比べ、長期間となることが想定される。（30か月程度）
- 募集要領公表時期の前倒しや接続検討回答の2段階化等を行うことにより、工程全体の短縮化（24か月程度）や発電事業者の事業性判断の早期化を図る。（次頁）
- 暫定対策による連系希望事業者への通知時期の繰上げについても、最大限配慮する予定。



## ※ 当面の連系量拡大方策（暫定対策）について

本プロセスは、大規模かつ工期の長い設備対策工事が必要と想定されるため、東北電力において本プロセスと協調して、早期に連系可能となる暫定対策を実施する。暫定対策による連系可否通知時期については、極力早期に事業者へお知らせできるように、優先系統連系希望者の決定時点とする。

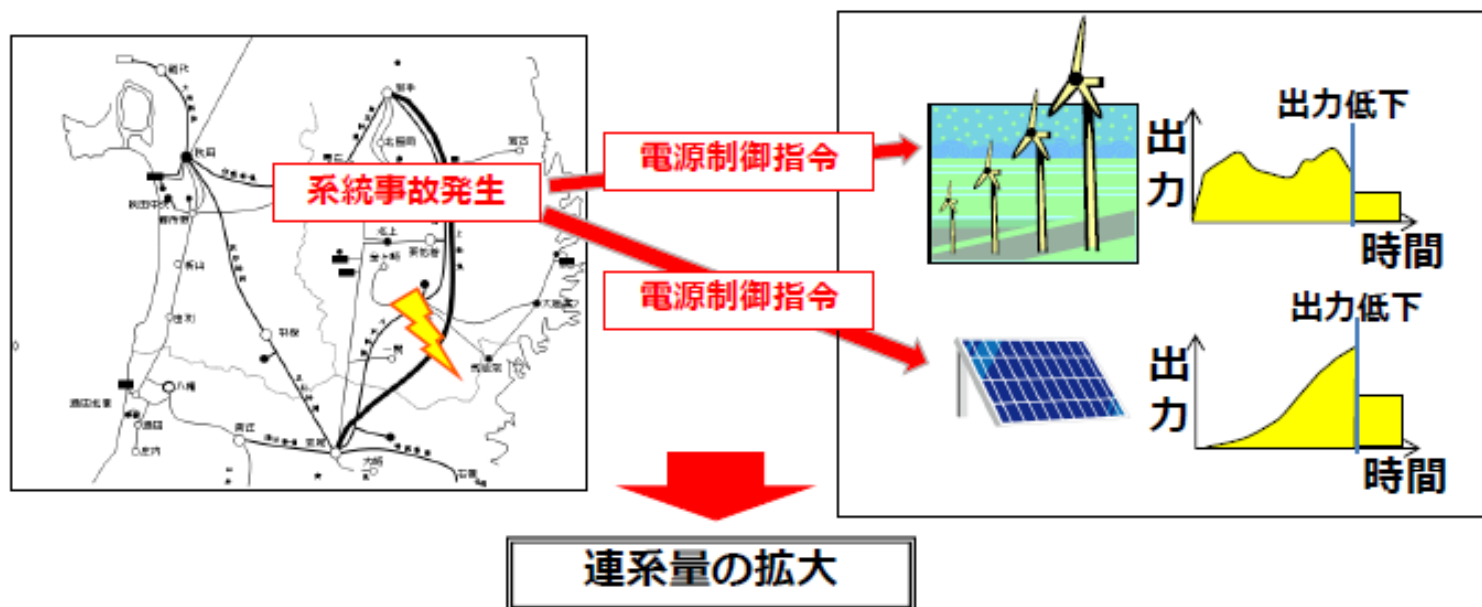
- 本プロセスの実施にあたっては、プロセス期間の短縮や発電事業者の事業性判断の早期化等に向けて、下表の対策を採用することにより、前頁のスケジュールの実現を目指すものとする。
- 今後も継続して改善策を検討し、より効率的に本プロセスを実施できるよう、最大限の工夫を行う。

取組	内容および期待される効果
①募集要領公表時期の前倒し	<ul style="list-style-type: none"><li>• 概ね増強規模が把握できる概要案にて募集要領を作成することにより、<u>公表まで8か月程度要するところ、5か月程度に短縮する。</u></li></ul>
②接続検討回答の2段階化によるローカルシステムの工事費提示時期の繰上げ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 今般、本プロセスの対象エリアが広範囲であり、多数の連系希望量が想定されること等から、接続検討に9か月程度要する見込み。</li><li>• このため、ローカル系統（募集対象工事を除く特別高圧（電源線及びその他供給設備））の設備対策内容・標準単価に基づく概算工事費を提示する（第1段階）ことにより、<u>連系希望者が少しでも早く投資の予見性を確保できるようにする。</u></li></ul>

## 電源制御※による連系量の拡大

P5

- 東北北部エリアの電源接続案件募集プロセスは、長期の工期を要する大規模なものになることが見込まれる。このため、工事期間中においても再エネ事業者が系統連系可能となる当面の系統運用の検討が必要
- 新規電源については、系統事故（落雷等の天災など）起因による電源制御を条件とすることで当面の系統運用による連系量は拡大できる見込み。



※電源制御：発電設備の即時制御から時間オーダーの制御までの電源出力制御の総称をいう。

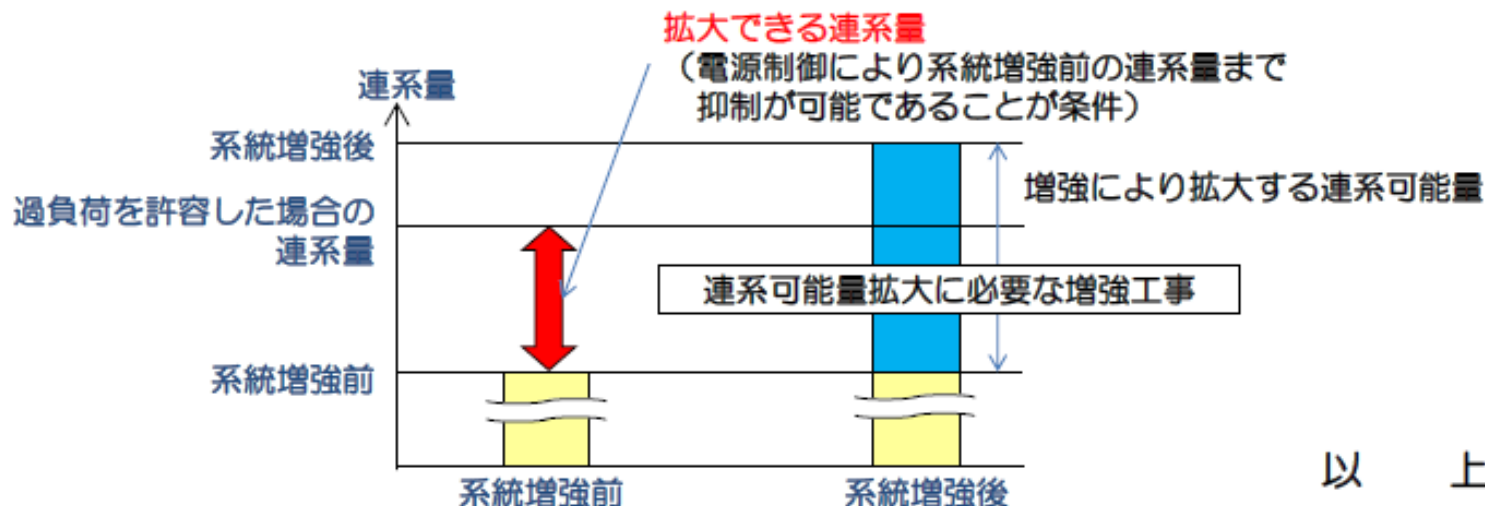
## 電源制御の実施による連系量拡大の条件

P7

- 電源制御による連系量の拡大は、あくまで当面の措置であるため、再エネ事業者が系統連系するためには、通常の見え方に加え、以下のような条件が前提。

### 【条件】

- 連系可能量が確保できる系統増強工事が計画されていること。
- 系統増強前系統に連系した場合において、事故時に1線路または1変圧器が停止した場合に、当該事業者を含めた発電事業者の電源制御により、過負荷が解消できること。
- 作業停止時においても、発電設備が連系している線路以外の線路等の過負荷が見込まれる場合、電源制御を適用すること。



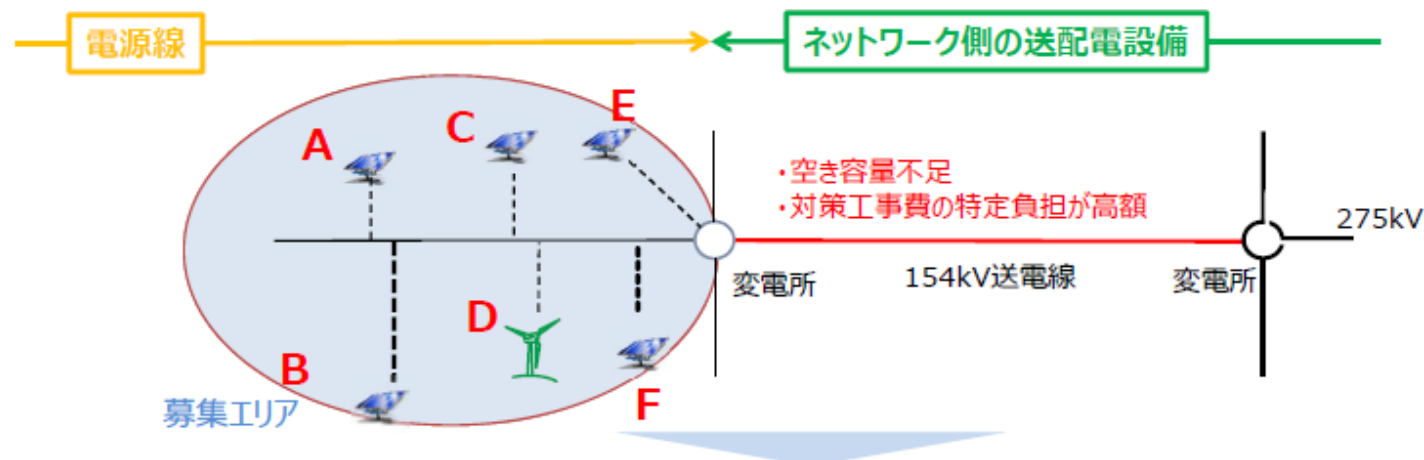
## (2) ローカル系統制約対応 ②入札募集ルールを整備

47

- ① 大規模な系統増強が必要となる場合には一社では負担が大きすぎる場合がある。
- ② このため、系統増強の工事費負担金を複数の事業者で共同負担する、電源接続案件募集プロセスが広域機関ルールで定められ、事業者は、広域機関又は一般電気事業者に対して、当該プロセスの開始申込をすることが可能となった。(平成27年4月 広域機関業務規程及び送配電等業務指針)。
- ③ 東京電力管内の群馬県北部では、ルールの策定に先行し、昨年より試験的に入札を実施し、入札募集が成立した(合計約14万kW分、140件)。今後、事業者からの希望があれば、他のエリアでも全国的に、順次入札募集が実施される見込み。

### <入札募集ルールについて>

発電者 A～F は連系の意思があるものの、それぞれの接続検討回答における特定負担分に係る増強工事費が1社で負担するには高額で、連系申込に至らない(地域全体の連系が停滞)。



発電事業者からの申込等を契機に広域機関又は一般電気事業者が、入札方式で連系希望者を募集。入札額の高い順に連系優先順位をつけ、増強後の連系可能量を満たすまで落札できるものとする。落札者は、落札額に応じて系統整備コストを負担する。

平成 29 年 1 月 24 日  
電力広域的運営推進機関

## 東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセスの スケジュールについて

東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセス（以下、「本プロセス」といいます。）については、平成 28 年 10 月 13 日に開始を公表 \*しておりますが、そのスケジュールについては、対象エリアが広範囲となり検討に時間を要することから後日公表としておりました。

今般、スケジュールの見通しが立ちましたので、別紙のとおり公表いたします。

※広域機関HP 東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセスの開始について  
[https://www.occto.or.jp/keito/akusesu/files/161013\\_ntohoku.pdf](https://www.occto.or.jp/keito/akusesu/files/161013_ntohoku.pdf)

以 上



(別紙)

## 東北北部エリア電源接続案件募集プロセスのスケジュール

### 1. スケジュール

平成28年10月13日	・電源接続案件募集プロセス開始・公表
平成29年 3月上旬頃	・募集要領の公表
平成29年 3月上旬頃 ～ 3月中旬頃	・応募の受付開始 ・説明会の開催
平成29年 4月下旬頃	・応募の受付締切
平成29年 5月上旬頃	・接続検討の開始
平成29年 6月下旬頃	・接続検討結果（第1段階）の回答
平成29年 7月上旬頃 ～ 8月上旬頃	・プロセス参加（接続検討）継続の意思確認
平成30年 1月下旬頃	・接続検討結果（第2段階）の回答
平成30年 2月上旬頃 ～ 3月下旬頃	・入札の受付締切 ・入札保証金の入金期限 ・開札（優先系統連系希望者の決定） ・再接続検討の開始
平成30年 7月下旬頃	・再接続検討結果の回答
平成30年8月上旬頃 ～ 9月下旬頃	・再接続検討の結果を踏まえた共同負担意思の確認 ・工事費負担金補償契約の締結 ・電源接続案件募集プロセスの完了 ・電源接続案件募集プロセスの結果公表

- ・想定を上回る申込み（件数・容量）があった場合、検討期間等が延長となる場合があります。

(スケジュール概要 (予定) )



※1：接続検討回答（第1段階）：プロセス応募者の早期の事業性判断に寄与するよう募集対象工事を除く特別高圧（電源線及びその他供給設備）の設備対策内容及び標準単価に基づく概算工事費を提示します。（詳細は、募集要領（平成29年3月上旬頃公開予定）にてご確認下さい。）

※2：暫定対策：参考参照

2. プロセス実施期間について

本プロセスの対象エリアが広範囲であり多数の連系希望量が想定されること及び対策工事が基幹送電系統に及ぶこと等から、プロセス実施期間が長期間となることが想定されますので、円滑に進めるために接続検討回答の2段階化等の取組を実施します。

その他の方策についても、継続して検討します。

なお、本書面に記載する事項は本プロセススケジュール公表時点の見込みに基づくものであり、今後の詳細検討の結果、記載内容に変更が生じる可能性がありますので、ご留意ください。

以上

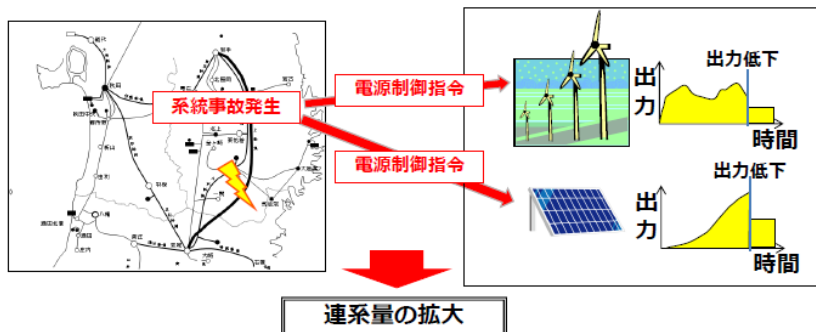
### 【当面の連系量拡大方策（暫定対策）について】

本プロセスは、大規模かつ工期の長い設備対策工事が必要と想定されるため、東北電力において本プロセスと協調して、早期に連系可能となる暫定対策（下図参照）を実施します。暫定対策による連系可否通知時期については、極力早期に事業者へお知らせ出来るように、優先系統連系希望者の決定時点とします。

## 電源制御※による連系量の拡大

P5

- 東北部エリアの電源接続案件募集プロセスは、長期の工期を要する大規模なものになることが見込まれる。このため、工事期間中においても再エネ事業者が系統連系可能となる当面の系統運用の検討が必要
- 新規電源については、系統事故（落雷等の天災など）起因による電源制御を条件とすることで当面の系統運用による連系量は拡大できる見込み。



※電源制御：発電設備の即時制御から時間オーダーの制御までの電源出力制御の総称をいう。

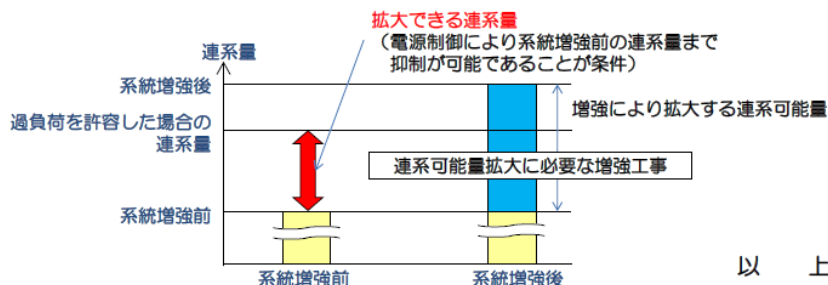
## 電源制御の実施による連系量拡大の条件

P7

- 電源制御による連系量の拡大は、あくまで当面の措置であるため、再エネ事業者が系統連系するためには、通常考え方に加え、以下のような条件が前提。

### 【条件】

- 連系可能量が確保できる系統増強工事が計画されていること。
- 系統増強前系統に連系した場合において、事故時に1線路または1変圧器が停止した場合に、当該事業者を含めた発電事業者の電源制御により、過負荷が解消できること。
- 作業停止時においても、発電設備が連系している線路以外の線路等の過負荷が見込まれる場合、電源制御を適用すること。



(出典：第8回系統ワーキンググループ(H28.10.14)資料)